

東海文学
第1号



「東海文学」第1号
(東海文学の会)



「下々の女」江夏美好
(河出書房新社)

江夏美好は大阪から名古屋へ来て「文藝首都」に投稿しても採用されず不満なこの近辺の井上武彦、竹中昭彦、堀井清らを

「文藝首都」「作家」は主宰が添削、多くをボツにし、「文學者」は丹羽文雄が「金は出すが、口は出さない」主義で選考編集は吉村昭。わたしも習作を送ったら、「感性はいいですが。しかし『文學者』は二種の投稿誌です」と促すハガキを頂きました。何度も芥川賞候補となり落ち、妻の津村節子が芥川賞を受けた後、太宰賞を得た吉村は作風が「変」「戦艦武蔵」「高熱隧道」などで大活躍を始めます。

昭和三十年代は文芸同人雑誌全盛期でした。中でも全国的規模なのは保高德蔵、主宰の「文藝首都」、丹羽文雄の「文學者」、それに戦後第一回芥川賞受賞の小谷剛が地元名古屋で発行した「作家」。これらを「同人雑誌御三家」といってよいでしょう。「文藝首都」は昭和八年創刊ですが、戦後も北杜夫、中上健次、津島佑子、林京子、大原富枝、なだいなだ、佐藤愛子がこころから出ています。「文學者」は瀬戸内晴美(寂聴)、吉村昭、津村節子、新田次郎を生み、「作家」からは豊田穰、藤井重夫さらに稲垣足穂なども載せています。小谷は「作家賞」も設け、全国の同人雑誌から選び表彰もしていました。

江夏美好「東海文学」の時代

三田村博史

誘い昭和三十四年、「東海文学」を創刊。六号発表の江夏の「幻想の刃」が昭和三十六年六月号の「文學界」に転載されます。同時掲載は芥川賞受賞となった宇能鴻郎の「鯨神」。これを見てわたしは身近な季刊「東海文学」に入れてもらいました。江夏は井上とともに二回直木賞候補になっています。「下々の女」で第十二回田村俊子賞。鎌倉東慶寺で草野心平から授賞。三十三号発表の井上の「死の武器」特殊潜水艇異聞は三島由紀夫の絶賛を受けました。昭和五十六年十月、八十号で終刊。江夏は口腔癌に苦しみ、それを「針千本」と題し中日新聞に連載、翌年七月、自死。後継誌「文芸中部」は年三回刊行で十一月には百三十号を迎えます。

地元御三家で今もつづいているのは昭和二十四年、木全圓寿、清水信を中心に創刊の「北斗」。年十回の刊行を守り七百号を越え、大阪の「V.I.K.I.N.G」に次ぐ長期刊行です。清水は第三回近代文学賞受賞、全国の同人雑誌を読み育てました。現在の主宰は四代目の竹中忍。

昭和二十九年からの「くれとす」は現在の愛知教育大教官の読書会が発端で、栄育ちの城山三郎も参加しています。長編は載せなかったで「輸出」を文学界新人賞に応募、入選。城山は昭和三十四年「総会屋錦城」で直木賞を受賞しました。

【三田村博史(みたらひろし)】
全国同人雑誌協会名誉会長。中部ペンクラブ顧問。著書に「姜(カン)の亡命」「漂い果てつ」(風媒社)、「東海の文学風土記」(中日新聞社)など。第一回中部ペンクラブ文学賞、名古屋芸術賞。

EVENING SCHEDULE 2025

各イベントのお問い合わせは文化のみち二葉館 Tel/Fax 052-936-3836 ※月曜休館、祝日の場合は翌平日休館

9月 9月15日(月・祝)は敬老の日 市内在住65歳以上は入館料無料! ※敬老手帳などご提示ください。

7月→8月

夏休み!二葉館クイズラリー
見学しながらクイズにチャレンジすると参加賞をプレゼント。
■期間:7月19日(土)~8月31日(日)

ミニ企画展 前衛歌人・岡井隆展

岡井隆は、昭和30年代の前衛短歌運動を牽引。当時の歌集などを中心に紹介します。
■期間:7月30日(水)~8月31日(日)

8月

夏休み! おしごと体験 子ども館長

文化のみち二葉館で“おしごと体験”しましょう。
■日時:8月8日(金)・9日(土)・22日(金)・23日(土)
各日10:30~12:00、13:30~15:00
■定員:各回1名 対象:小学4年生~6年生
■申し込み方法:7月12日(土) 10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み

10月 10月19日(日)は名古屋まつりで入館無料!

文学企画「江夏美好と東海文学」

文芸誌「東海文学」を主宰し、女性たちの生き様をえがいた作家・江夏美好について紹介します。
■期間:10月8日(水)~11月30日(日)

親子で巡る 文化のみち探検隊ツアー

町並みの魅力を発見しよう!
■日時:10月11日(土)10:30~12:30
■定員:10組20名(小学生の親子)
■申し込み方法:9月20日(土)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み

ステンド硝子アート&ステンドグラス作品展「つなぐ」

ひとつの作品が昼夜で変化する様子もお楽しみください。
■期間:10月11日(土)~19日(日)
■共催:K.M.Y.ステンド硝子アート協会

文学トークイベント 「江夏美好のくふるさと」-名古屋と白川郷-

作家・江夏美好の創作原点についてお話いただきます。
■日時:10月26日(日)13:30~15:30
■会場:1階大広間
※当日先着自由席(30席程度)申込不要
■講演:三田村博史(中部ペンクラブ顧問) 林 正子(岐阜大学名誉教授)

画家・柳瀬辰久展 路標 せせらぎ街道

彩色や水墨など日本画で描かれた奥行きある作品です。
■日時:10月30日(木)~11月3日(月・祝)

秋桜会 水彩画作品展

■10月30日(木)~11月3日(月・祝)

姫きもの展
今回はお気に入りの一枚を市松人形用に仕立てました。
■期間:9月10日(水)~15日(月・祝)



「帯でテーブルセンターを作ろう」制作講習会

■日時:9月11日(木)~9月13日(土)
各日10:30~12:00、13:30~15:00
■材料費:1,000円(別途要入館料)
■定員:各回10名(中学生以上)
■申し込み方法:8月27日(水)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み
■協力:古製美術工房



5館連携 名古屋お屋敷めぐりスタンプラリー

■期間:9月12日(金)~10月13日(月・祝)
■会場:文化のみち二葉館、文化のみち榎木館、旧豊田佐助邸、揚輝荘南園聴松閣、古川美術館 分館為三郎記念館

11月 歩こう!文化のみち

■期間:11月1日(土)~25日(火)
■二葉館カードプレゼント! 配布は期間中の毎週土・日・祝日デザインは週替わりで4種類。各日数量限定、無くなり次第終了。

親子三味線体験教室

親子で三味線体験をしてみませんか!
■日時:11月8日(土)①10:30~12:00 ②13:30~15:00
■定員:各回6組(小中学生の親子)
■申し込み方法:10月25日(土)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み



矢野きよ実 書道展 帰るなら来なきゃいいのに

書家・矢野きよ実氏の心に語りかける作品をご鑑賞ください。
■期間:11月19日(水)~24日(月・祝)



文化のみち・庭園をめぐる散策ツアー

文化のみち二葉館を起点としてスタートし、文化のみちエリア内の庭園をめぐるツアーです。
■日時:11月23日(日)10:30~12:30
■会場:文化のみち二葉館、主税町長屋門、宗興山禅隆寺、富永山養念寺、松山神社、喜秀山貞祖院玄白寺、文化のみち榎木館、名古屋城三の丸庭園(予定)
■定員:20名 参加無料 但し入館料
■申し込み方法:11月12日(水)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み

県民の日学校ホリデー 秋の二葉館クイズ

クイズに挑戦した中学生以下のお子様先着50名にお菓子をプレゼント。
■日時:11月25日(火)10:00~16:30

語りで誘うヴァイオリン二重奏

~ヴェルサイユ宮殿からベルエポックまで~
■演奏:安田真理、熊谷祥子 語り:榎原忠美
■日時:11月26日(水)13:30~15:00
■会場:文化のみち二葉館 1階大広間
※当日先着自由席 申込不要



五感で楽しむ伝統芸能 三味線体験付無料講習会 おしゃれな小唄
■日時:9月27日(土)13:30~14:45
■定員:15名
■申し込み方法:9月11日(木) 10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み



英語でガイド 英語で語る二葉館の魅力
英会話を学習中の皆さまのご参加、大歓迎です。
■日時:9月28日(日)①10:30~ ②13:30~ 各回1時間程度
■定員:各回15名 一般(海外の方、日本の方)
■申し込み方法:9月18日(木)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み
■協力:東区文化のみちガイドボランティアの会

あいちのたてもの博覧会
二葉館館長による館内ガイドを行います。
■日時:11月30日(日)①10:00~10:45 ②13:30~14:15 各回20名
■申込み受付:「あいちのたてもの博覧会」WEBサイトにて先着受付
■主催:あいちのたてもの博覧会実行委員会

12月 五感で楽しむ伝統芸能

三味線体験付 無料講習会
ご当地の伝統唄 正調名古屋甚句
■12月6日(土)13:30~14:45
■定員:15名
■申し込み方法:11月20日(木)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み

年忘れ 歌のかずかず

様々な日本の伝統歌をお楽しみください。
■12月14日(日) 13:30~15:30
■会場:1階大広間 ※当日先着自由席 申込不要

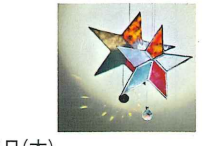


きらきら二葉館 クリスマスウィーク

記念撮影をどうぞ!
■期間:12月19日(金)~12月25日(木)

ステンドグラス制作体験

クリスマスオーナメント作り
■講師:硝子アート作家 藤田光子
■日時:12月20日(土)①10:30~12:30 ②14:00~16:00
■材料費:2,500円(別途要入館料)
■定員:各回8名(中学生以上)
■申し込み方法:12月11日(木) 10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み



トニチエコきっぷ・一日乗車券・メーグル1DAYチケットで 入館料割引一般200円→160円

